

Be The Inspiration

Rotary International District 2760

インスピレーションになろう

10
2018 OCT

2018-19 ガバナー月信



あなたの街でロータリーを！
あなたの街からロータリーを！

CONTENTS

- 2 …… 表紙のおはなし
- 3 …… ガバナー便り
- 5 …… 【特別寄稿】ポリオ撲滅・世紀のカウントダウン
ポリオ撲滅のためのゾーン・チャレンジ・コーディネーター(2009-12)
ロータリー財団地域コーディネーター(2012-15)
ロータリー日本財団理事(2015-現在)
PDG(2007-08) 江崎 柳節(小牧RC)
- 7 …… ろーたりーぱっちわーく
- 11 …… 新着ニュース 他



インスピレーションになろう

表紙の おはなし

写真提供：
鈴木正輝ガバナー補佐（豊田三好RC）



「三好大提灯」

ギネス世界記録最大の吊下げ提灯に認定

2017年8月19日三好大提灯の3基中の1基がギネス世界記録最大の吊下げ提灯に認定されました。

三好大提灯の大きさは高さ10.8m、幅6.50mです。

祭りの当日は棒の手保存会による棒の手奉納があり、多くの人々で混雑します。



「三好池まつり」

花火と巻き藁船

みよし市三大夏まつりの一つ「三好池まつり」は夜空に花火が花開き、三好池湖面には提灯を山に灯した巻き藁船が繰出し、幻想的な夏の夜となります。

国際ロータリー 第2760地区
ロータリークラブ会員の皆様へ

The letter
from
Governor
ガバナー便り

ガバナーとなって3か月が経過し、公式訪問は予定の半分を終了しました。この間40以上のクラブ訪問や、会長幹事さんとの懇談会で各クラブの様々な状況をお聞きすることが出来たのは、地区でのガバナーの活動に大変役に立っております。

公式訪問はRI会長テーマ『インスピレーションになろう』の解説をする卓話と地区方針の説明を行うわけですが、卓話はクラブの会員数や設立の年数に関係なく、ほとんど同じような話をすることにしております。会長幹事懇談会は、1クラブずつ行いますので、会長さんの本音や幹事さんからのクラブの実情などを、率直な表現で聞くことが出来たのがとても良かったと思っております。

しかし、これでも時間が足りず奥深い問題までたどり着いているとは思いませんが、私の持てる情報を活用し、できる限りのアドバイスと方向性をお話しさせていただいております。

さて今月は10月24日が世界ポリオデーで、ポリオ撲滅をテーマにご案内の通り27日28日とWFFを行います。ポリオについては、江崎PGの特別寄稿や私のパッチワークでも取り上げておりますので、そちらもご覧いただければと思っております。

会員皆様のWFFへの参加を会場でお待ちしております。私を見かけたら、来ていますよと気軽にお声がけして下さい。

また10月は米山月間です。こちらもHP上で米山記念奨学委員会の委員会活動ページや、My ROTARYでご確認をしてください。

米山奨学金はとても良い制度ですし、昨年設立50周年を迎え今後もロータリーの活動で大きな役割を果たしてゆきます。さらにこの9月の理事会で斎藤直美PGが米山記念奨学会の理事長に就任され

ました。わが地区も米山奨学生の育成や支援が活発に行われており、元奨学生の組織である米山学友会もしっかりした組織になってきております。

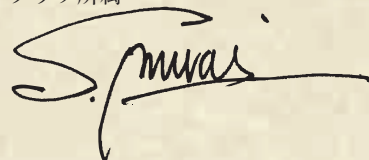
そしてこの米山奨学制度は、事業規模の大きさとともに、素晴らしい特徴は世話クラブ・カウンセラー制度があることです。今までそして現在、お世話していただいているクラブの方々、カウンセラーの方々本当に有難うございます。

最後になりましたがこの制度に欠かすことのできない寄付を、会員皆様から米山記念奨学会へ毎年多額に頂いていることに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

皆様のご理解ご協力、本当に有難うございます。

今月も会員皆様とともに、ガバナーとして頑張っまいります。皆様よろしくお願ひ申し上げます。

国際ロータリー第2760地区 2018-19年度ガバナー
豊橋ロータリークラブ所属



地区ホームページは[こちら](#)

ガバナーズウェブサイトは[こちら](#)

ポリオ撲滅・世紀のカウントダウン

ポリオ撲滅のためのゾーン・チャレンジ・コーディネーター(2009-12)

ロータリー財団地域コーディネーター(2012-15)

ロータリー日本財団理事(2015-現在)

PDG(2007-08) 江崎柳節(小牧RC)

0 - 5歳の小児期で最も忌まわしい疾患であるポリオの撲滅をロータリーが世界のこどもに誓い、立ち上がったのは1985年ロータリーが創立80周年を迎えた年に遡ります。ポリオの起炎菌は1型から3型の3種のビールスであり、好発部位はヒト脊髄灰白質前角で、感染直後から運動筋、骨の弛緩麻痺と発育不全を来すもので延髄領域、呼吸筋麻痺に及べば、当時世界中に準備された鉄の肺の適応になるが、これは生命の危機を意味するものでありました。125ヶ国で年間40万人の発症のポリオ撲滅に立ち向かうロータリーのパートナーとして国連機関であるWHO(世界保健機関)、UNICEF(国連児童基金)、そしてCDC(アメリカ疾病対策センター)がこれに呼応し、1988年世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)として始まりました。その後2009年ビル&メリンダ・ゲイツ財団がロータリーに強力な支援者として加わりました。ビル・ゲイツ一家はポリオ患者を抱え、先代共々シアトルのロータリアンであり、支援基金は常にロータリーに向かって行われています。

「何故ロータリーがポリオであったのか」。これは当時からある部分の会員から投げかけられていた疑問でした。曰く「医学団体でもないロータリーが」、「いつまで続くんだ」などなど。30年以上経った今、ロータリアンは

解っています。「他で出来ない本当のニーズに応えるロータリー」

「グローバルな立場で影響力を有するロータリー」

「多様な専門分野集団ロータリー」

「延べ20億人の子供に免疫賦与をする実践力のロータリー」

「長期的な変化と情熱と不屈の精神のロータリー」

「未来の人類に方法論の遺産を示すロータリー」

その上 「2滴の経口投与で確実に予防できる免疫機構」

「世界のリーダー、組織とのパートナー・アビリティ」

等々、ロータリーの覚悟には神も味方しています。

2018年9月4日現在 パキスタン3例、ナイジェリア0例、アフガニスタン12例。残る撲滅のための予算は15億\$不足と2017年の国際大会(アトランタ)で報告されました。直後ステージ上でGPEIと27の国家から12億ドルの支援の誓約が披露されました(図1)。残る3億ドルはロータリーが毎年5000万ドル、ゲイツ財団が1億\$3年間の上乘せをロータリーに宣言しております。世界中の注目と1例の発症も漏らすまいと遺伝子検査で応える独立監視機構(IMB)に守られながらロータリーは世紀のカウントダウンを迎えています。我々は「ロータリアンはInspiration」で最後まで応えましょう(図2)。

(終)

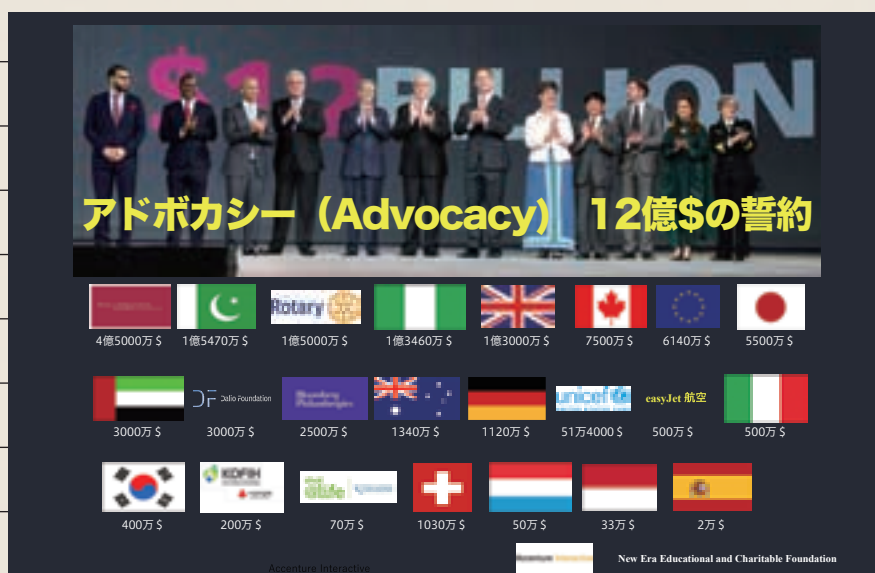


図1



図2

ロータリー その7 ぱっちわく

村井ガバナー的まころ

映画ブレスをみてポリオについて考える

先日、映画《ブレス・しあわせの呼吸》を鑑賞してきた。ポリオに感染した青年が、周りの人の愛情に支えられ生きていく実話をもとにした映画であり、ロータリーが協力している。

地区内の地域によっては上映館がないところもある。鑑賞していない会員もいるかも知れないので、ストーリーの詳細は伏せておく。

この映画を見ることは、ポリオについて考える良い機会になることは確かである。私たちロータリアンはポリオの撲滅を訴え活動を続けている。それもあと少しのところまで先人たちの努力もあって、達成するところまで来ている。

ポリオは無くすことが出来るのであるから、無くさなくてはならない。これはロータリアンだけでなく人類の悲願であると思うが、ここ数年で発症数が減少してきたことは本当に喜ばしいことである。

地区ロータリー財団委員会の中村公彦委員長から教えていただいた資料の中に次のようなものがあった。

◎ポリオを地球上からなくす5つの理由

1. 犠牲となる子どもをなくす

ウィルスを撲滅せず、感染を抑止するだけでは、今後10年以内に発症者の数が20万人に跳ね上がると言われています。

2. 撲滅は可能

ポリオ撲滅の手段、そしてすべての子どもに予防接種を行うための手段が、私たちには備わっています。

3. 未来への投資

《ポリオのない世界》への世界的投資により、今後20年間に400～500億ドルの経済的恩恵もたらされると専門家は見ています。

4. システムの強化

ポリオ撲滅の取り組みによって、感染を徹底して監視するためのネットワークが世界各地に築かれました。これにより、今後も世界中の地域社会を守っていくことができます。

5. 公共保健活動のモデルとなる

世界中すべての子どもへの予防接種が可能であることが実証されれば、今後の世界的な公共保健活動の可能性をさらに広げることが出来ます。

本当にポリオは無くせるところまで来ているし、多くの子どもたちが不幸な目に合わなくて済む世界が近づいている。今回の映画ではポリオ撲滅と言うより、ポリオに感染することにより大変な生活をしなくてはならないことが理解できる。映画では周りの愛情の強さを表現していたが、現実は今も多くの感染者が大変な思いをされている。

一人30ドルの募金をお願いしているが、金額の多寡ではなくロータリーの活動として募金に難色を示されている方もいるという話も耳にする。

しかしポリオは無くせる、無くさなくてはならないのである、ということは理解していただきたい。そしてロータリー活動でなくても、別の場面ででも寄付をお願いしたく思う。

ポリオ撲滅については多くの動画や資料がMy ROTARYから手に入る。また、10月24日は世界ポリオデーと制定されており、その週の27日・28日の2日間は当地区のWFF（ワールドフードふれあいフェスタ）を開催する。さらに27日の夜は、ポリオ親善大使のジュディ・オングさんを招いて「エンドポリオナイト」を開催し、ポリオへの募金協力をお願いすることになっている。

ポリオに感染する子どもたちがいてよいわけがない、これからの子どもたちの為にも、ポリオ撲滅に皆さんの理解を形に現していただきたいと願うばかりである。

RID2760 2018-19 ガバナー 村井 総一郎



ろ-た-りー その8 ぱっちわく

村井ガバナー的まころ

前年踏襲について考える

今回は前年踏襲と言う言葉について考えてみる。

私が考えている前年踏襲と言う言葉の持つイメージは、すべてのことに対して、何も考えずに何も変えずひたすら同じことを同じようにすること、という意味合いを強く感じている。昨年はこれで誰からも文句言われなかったから、今まで誰も変えることをしてないのに自分の代で変えることはない、といった発想ではないかと思っている。

だから私は「前年踏襲はしない」ということがある。

前年踏襲と言う言葉で何も変えることをしないのは、何も考えない、何も意識しないで過ごそうとする言い訳であると言っては言い過ぎだろうか？

私の家業である糶屋こうじやは私で二十八代であるが、戒律的に何ひとつ変えてはならぬということはない。社訓ではないが、社員教育として次の言葉をよく使う。

『古くして古きもの滅ぶ、新しくして新しきものまた滅ぶ、古くして新しきもの永遠不滅なり』

簡単に説明すると、古いものをそのまま受け継いでいては駄目である、古いものを基盤に新しい息吹を吹き込んでいくことこそ永遠不滅である、と言う意味合いである。IT企業のような新進企業には合わない言葉であるが、わが社ではこの言葉を大切にす社風がある。

さて話題を戻そう、私は今までのやり方や活動してきたことを今一度見直し、改革すべきところは改革する。やめることもあるし、変えることもあるし、追加することもあるし、熟慮の上に手を加えないことももちろんある、これこそが「前年踏襲はしない」ということであろうと思っている。

ガバナーとしての私も、何も考えずに前年踏襲で良しとしていることは無いだろうか、間違っただまの運営は無いだろうか、と自分自身や周りの皆さんに問いかけ

ながら、地区委員長の方々の協力で地区の運営を進めている。

過去のその時に任務に当たった人が間違えたことを誰も気が付かずに、または気が付いても修正せずに過ぎてきたことはないだろうか、それが標準となり正しいものとされていることがないだろうか、という検証もしていくべきと思っているということである。

更にガバナーとして皆さんと共に考えたいのは、なぜそうしているのかという問いかけに、いやそれは昨年もそうだったから、あるいは例年そうだからと納得していないだろうか、という部分である。

なぜこの人たちの集まりなのか、なぜこの時期にするのか、なぜこの順番の進行なのか、まったく検討されず、前年踏襲されている姿を見受けることが多い。

繰り返しになるが、全てを否定ではなく、検証した結果同じようにやるべきことはやれば良いし、変えるところは変えればよい。この過程を私は『前年踏襲はしない』という言葉で表現したいと思う。もちろん、この変化には多くの人の声に耳を傾けることは言うまでもない。

変えることには反対派が必ずいる、なぜ変える、しきたりを無視するのか、と言った声も出てくるだろう。理由があれば理解する人もいるだろうし、正論を振りかざしても頑なに拒む人もいるなど、様々な説得できにくい場面もあるだろう。

しかし変えなくてはいけないところは、熱い思いと真摯な態度で信念をもって突き進むしかない。ガバナーとして前を向いて1年間理解者の協力のもと歩んでゆきたい。

RID2760 2018-19 ガバナー 村井 總一郎

新着情報をホームページ(HP)で公開しています
各種お知らせをはじめ定期配信コンテンツは、ガバナー月信発行に合わせ
HPにて更新します。各バックナンバーも閲覧しやすくなりました。

<https://www.rotary2760.org/g18-19/>

▼コンテンツタイトルをクリックするとリンク先PDFを開きます▼

定期配信

■ガバナー月信サイト

村井ガバナーのコンテンツやブログを掲載
メニュー>ガバナーズウェブサイト(各ページへ)

■ハイライトよねやま

メニュー>月次報告(PDF)
vol.222 2018/9/13発行

■コーディネーターNEWS

メニュー>月次報告(PDF)
2018年10月号 2018/9発行

■財団室ニュース

メニュー>月次報告(PDF)
2018年10月号 2018/9/末頃発行予定

■文庫通信だより

メニュー>月次報告(PDF)
372号 2018/9発行

ロータリー文庫より

これまで文庫通信につきまして、毎月25日発行しておりましたが、
より厳選し、今後は隔月の「偶数月」に発行することとなりました。
次号373号の発行・掲載は、10月25日(月信11月号)となります。

■風の便り

メニュー>月次報告(PDF)
vol.5(通刊50号) 2018/10発行

■会員数と出席率

メニュー>月次報告(PDF)
※2018年9月度分は10月中旬以降の配信となります。

お知らせ・お願い

■ガバナー候補推薦について

メニュー>お知らせ

■各種賞・表彰の概要について

メニュー>お知らせ

■立法案提出のお願い

今年の提出期限は終了しました。

■WFFのお知らせ

メニュー>月次報告>ご案内

■地区大会のお知らせ

メニュー>月次報告>ご案内

■青少年交換のお願い

今年の募集は終了しました。ご協力有り難う御座いました。

特別寄稿 活動報告/その他更新記事

ポリオ撲滅・世紀のカウントダウン

ポリオ撲滅のためのゾーン・チャレンジ・コーディネーター(2009-12)
ロータリー財団地域コーディネーター(2012-15)
ロータリー日本財団理事(2015-現在)

PDG(2007-08) 江崎 柳節(小牧RC)

「世界ポリオデー」によせて

ポリオ・プラス/職業研修チーム委員長 福田 哲三

「米山月間」によせて

米山記念奨学委員長 山田 直樹

ガバナーやスタッフのブログもガバナーズウェブサイトでも更新中!

■分区内交流だより

本年度は、他クラブ例会への積極的参加を推進しています。

■地区委員会報告

20委員会全ての活動情報を随時更新しています。



最新情報の取得はメールマガジンが便利です!
最新記事リストはメールマガジンでも配信します。リストをクリックするだけで
閲覧したいページをブラウザで展開します。是非、活用ください。

